

下水道のしくみ



下水道は、清潔な町やきれいな川をつくるために、大切な役目をもっています。
さあ、いっしょに下水道のはたらきを見てみましょう。



1 下水管

家庭や工場から出された汚水は、地下にはりめぐらされた下水管をとおって、しだいに集められ、浄化センターに流れ込んでいます。

2 沈砂池

流れてきた汚水は、まず沈砂池に入れます。この池では、汚水中の土砂は底に沈み、大きなゴミはスクリーンで取り除かれます。これらの処理が終わった汚水は、ポンプで調整池へ送られます。

3 調整池



4 最初沈殿池

水処理施設へ送られた汚水は、まず、最初沈殿池の中をゆっくり流れます。この間に、汚水中の小さなゴミや沈殿しやすいドロ等の固形物は底に沈み、取り除かれます。



5 反応タンク

最初沈殿池より流れてきた汚水に活性汚泥(好気性微生物を多量に含んだ汚泥)を加え、空気を吹き込んで6時間ほど曝気します。



へえ～、下水道ってこんなふうになってるんだあ。
いろいろな役目があるんだね。



五領川浄化センター
マスコットキャラクター
【ツリッピー】

ぼくらの仲間が
水をきれいにするため
働いているよ。

